

①学会・研修会・講習会等の名称：

変形性膝関節症へのP Tアプローチ～膝の機能解剖をどのように考えるのか？

②日 時：2014年12月28日（日）10：00～16：00（受付9：30～）

③内 容：

変形性膝関節症に限らず膝関節障害を診るに当たっては、膝関節における機能解剖学と、病態を絞り込んでいくための触診技術ならびに検査技術の正確さが必要である。なぜならば、我々が行う運動療法技術は必ず「適応」の上に実施されるべきものであり、そのための病態観察ならびに病態洞察は適切な技術選択において欠かせない能力であるからである。病態に合った運動療法を行えば患者は当たり前のようになるとは、病態に合わない治療では効果はあがらない。整形外科のなかでは「安定した関節は疼痛を出さない」と言われる。では、膝関節において不安定とは何か？そして安定させるとはどういうことであろうか。ありふれた変形性膝関節症において見られる疼痛も様々である。歩行時痛、階段昇降時痛、膝関節伸展時痛または屈曲時痛正座時のみ生じる膝窩部痛など、変形性膝関節症患者が訴える疼痛は多岐にわたる。これら疼痛が運動療法によって消失したとき、膝に生じていた変形は消失するであろうか？我々は一体膝関節の「何を」治しているのであろうか？膝関節 機能解剖学、超音波所見などを盛り込み、私なりの答えを出してみたいと考える。

④講 師：林 典雄 先生

（中部学院大学 看護リハビリテーション学部理学療法学科 教授・理学療法士）

⑤会 場：東別院会館 3階 ホール（愛知県名古屋市中区橘2-8-45）

⑥受講費：12,500円（税込）

⑦定 員：150名

⑧申込先：合同会社 gene ホームページ（[www.gene-llc.jp](http://www.gene-llc.jp)）よりお願い致します。

⑨締 切：定員になり次第締め切り

⑩主 催（協会または県士会の主催、共催、協賛、後援の有無も記載してください）：  
合同会社 g e n e （愛知県士会後援依頼申請中）

その他：